



真田山小学校



所在地 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町14番41号
電話番号 06-6761-0902
HPアドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e591240>
校長名 大澤 啓司

【学校の概要】

明治7年11月西成郡七番小学校として開校し、昭和22年4月真田山小学校と改称されました。

本校では、「心豊かで、すすんで課題に取り組むたくましい子」を学校教育目標に掲げ、確かな学力、豊かな心、たくましい体の三要素のバランスのとれた児童の育成をめざした教育活動を行っています。教科指導においては、児童一人一人が興味関心をもって、粘り強く取り組む力を育てることを目標にしています。授業の中で課題把握や問題発見の場を設定し、自ら学び考え、意欲的に課題解決に取り組むことができるよう指導法の研究を進めています。

令和6年度に創立150周年を迎えました。これまでに保護者や地域の皆様と共に歩み育んできた真田山教育の歴史と伝統を継承していきながら、今後も教育活動を推進していきます。

【児童数】

(令和7年5月1日現在)

学年	児童数	学級数	特別支援学級数
1	143	4	9
2	180	5	
3	167	5	
4	185	6	
5	170	5	
6	176	5	
計	1,021	30	

【R6 全国学力・学習状況調査の結果】

【自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン】

平均正答率	国語	算数
学 校	69	73

【国語】「読む」において、全国平均を4.7ポイント上回っている。昨年度の対全国差と比べても上回っていることから、読み取りの力はついていると考える。しかし、「情報の扱い方」や「話すこと・聞くこと」の力の育成が課題である。

【算数】領域別に見ると、変化と関係をとらえる力については、問題形式別に見ると、短答式では、68.4ポイントとなり、全国平均よりも7.1ポイント上回っている。記述式では、全国平均よりも上回っているものの、差は1.6ポイントとそれほど大きくないことから、記述式の問題において課題があると言える。

今後より分かりやすく楽しい授業・自ら考える授業の構築を目指して、研修等を充実させる。質問紙調査において見えてきた課題の解決として、学校が楽しいとすることができる工夫が必要である。目標をもって意欲的に活動できるように、今後も継続的に自己肯定感を高めるような取り組みを行っていく。学校生活においては、他者との関わりの中で、相手意識を高めさせて人間関係をよりよいものにしていく必要がある。また、より学習意欲を高めていけるようにするためにも、まずは安全安心な環境を整え、一人一人の課題をしっかりと把握し、適切な指導・支援ができるように心がける。

【R6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果】

【自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン】

平均値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ	合計点
男子	16.93	18.48	33.35	42.29	47.28	9.67	151.21	19.74	52.48
女子	17.05	17.84	38.07	39.24	35.38	9.84	142.43	12.39	53.59

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

前年度の質問紙調査結果から課題として捉えていた「授業の中で、できたり、わかったりする児童を増やすこと」「ICTの活用」「保健領域の指導による運動への知識理解の促進」については、肯定的な回答をする児童の割合が増え、向上が見受けられた。今後も一つひとつの授業づくりを大切にしていきたいと思います。運動面では、上体起こし、持久力、50m走のスピード、ボール投げの巧緻性や筋力の向上が課題であることが分かった。特に走の運動や投てきに関しては、児童数が多く運動場が狭いという学校の環境面による影響も少なからずあると考える。休み時間は安全面を考慮して2学年ずつの開放に制限しているため、校内で運動に親しむ機会は決して多くはない。また、体育の授業は運動場の限られたスペースで実施しているため、思いきり走る・投げるといった運動に取り組みにくさがある。そのような状況から、体育科の授業は真田山グラウンドを借りて実施するなど、環境面による影響がなるべく出ないように工夫しているところである。また、環境面以外にも、チャレンジなわとびタイムの取組等、運動に親しむ機会をしっかりと確保していく。児童が将来豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成できるよう、資源を最大限かつ効果的に活用して取組を進めていく。

【主な学校行事】

(令和7年度)

4月	入学式、始業式、教育相談ウィーク
5月	遠足、学習参観
6月	プール開き、学習参観
7月	個人懇談会、終業式、林間学習（5年）
8月	始業式
9月	学習参観
10月	運動会、遠足、修学旅行（6年）
11月	作品展、学習参観
12月	個人懇談会、終業式
1月	始業式
2月	学習参観、卒業遠足（6年）
3月	卒業式、修了式

※上記の学校行事は変更することがあります。

【学校説明会・見学会日程】

本校校区にお住まいの方対象の

学校説明会及び学校見学会

◆学校説明会

9月17日（水） 13:25～13:55

◆学校見学会

9月17日（水） 13:55～14:35

※急な予定変更等がある場合は、学校HPでお知らせいたします。
ご確認よろしくお願いいたします。



◆学校教育目標

「心豊かで、すすんで課題に取り組むたくましい子」の育成

◆重点目標

- すすんで課題に立ち向かい、ねばり強く取り組む子
- 思いやりをもち、互いに支えあう子
- 強い意志をもち、自らを鍛えようとする子

《中期目標》

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケートで「お子さんは楽しく学校に行っている」について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各種目別平均と体力合計点を、男女ともが全国・大阪市より上回るようにする。
- 自分の思いや考えを持ち、進んで表現しようとする子の育成を目指し、令和7年度の校内アンケートで「お子さんは、学んだことをまとめ発表することが好きである」について肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 1人1台端末の環境を生かし、令和7年度に学習者用端末を活用した学校での学習、もしくは、家庭学習を1日1回以上実施する。
- 教職員が子どもとしっかり向き合い、ゆとりをもって関わるができるようにするために、業務改善に取り組み、働き方改革を推進する必要がある。時間外勤務時間の1月あたりの平均が45時間を超えない教職員の割合を85%以上にする。

《令和7年度の主な重点取組》

●「思いやりをもち、互いに支え合う子」をめざした、安心・安全の学校環境の実現

- ・各学年で、年間1回以上、外部人材を活用した学習や体験を実施する。
- ・異学年交流の機会を多く設定する。

●学力を向上させ、自分の思いや考えを持ち進んで表現しようとする子の育成

- ・テーマを決めて、探究的な学習（自ら課題をみつけ、考えを形成し、交流・表現する）を意識した単元計画を立て、実施する。
- ・学活等の時間を活用し、児童同士がつながり交流できる場を設定していく。

●子どもの体力・運動能力向上のための取組と、保健指導や食育指導の推進

- ・縄跳び運動に取り組む「チャレンジなわとびタイム」を設け、体力づくりに努める子どもを育てる。
- ・健康に関する健康強調週間を設けるとともに、保健だよりを発行し、継続的に指導を行う。
- ・栄養指導を実施するとともに「給食だより・食育だより」を発行し、児童への指導及び家庭への啓発に努める。

●学びを支える教育環境の充実

- ・1人1台学習者用端末の環境を生かし、個別最適化の学びと協働的な学びの実現に向けた取組を推進する。デジタル教材などを活用した学習を平均週1回以上実施する。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に基づいた、教職員の働き方改革を推進する。週1回「ゆとりの日」の実施。
- ・学校司書との連携や学校図書館ボランティアの協力を得て、定期的に本の読み聞かせを実施する。

●安全・安心な教育活動を確保するための計画的な環境整備

- ・教職員による校内安全点検を実施する。
- ・毎日の清掃指導を徹底する。



質の高い教育を実現する学校体制と、豊かな教育活動の設定

- ・外国語や体育科、理科などでは専科制の授業を取り入れ（中学年以上）、教員の専門性を生かした授業を実施しています。
- ・研究校としての伝統を継承し、校内における教科研究の取組を推進しています。令和7年度は昨年度に引き続き課題について調べ、考え、仲間とともに解決への糸口を探っていき、わかったことを表現する力の育成を目指しています。
- ・授業以外にも、毎日の「真田山タイム」の取組や、「真田山ゲーム集会」などの児童会が主催する校内イベント、PTAや地域の方と協働した行事といった、多様な教育活動の機会を設定しています。

標準服 有 **無**

※詳しくは学校ホームページをご参照ください。